

皆さん、こんにちは。

私、日本共産党の宇田たか子です。

皆さん。私は、25年間保育園で働き、子どもたちの健やかな成長と、働くお母さん方を応援してきました。

国民の声を無視して強行採決された戦争法・原発の再稼働。

子どもたちの笑顔も未来も、もう保育園の中だけでは守れません。

私は、子どもたちの笑顔と未来を守るために、憲法が生きる日本、誰もが安心して暮らせるひたちなか市をつくるため、全力で働きます。ご支援をどうぞよろしくお願いします。

皆さん、19日強行採決された戦争法は、日本国憲法の平和主義をおおもとからこわし、日本を「海外で戦争する国」につくりかえるものです。自衛隊を「殺し・殺される」戦地に送ることになります。安倍首相は、「安全だ」といっていますが、元自衛隊の方々は「必ず戦死者が出る」と断言しています。

ひたちなか市には、陸上自衛隊の駐屯地があります。「僕のお父さんは戦争に行くの?」と目に涙をためて心配する子どもさんがいます。今なぜ、子どもたちにこんな不安な思いをさせなければならないのでしょうか?

戦後70年間、日本の平和を守ってきたのは、武力による抑止力ではありません。

二度と戦争はしないと世界に誓った憲法9条のもと、戦闘地域には行かない、武力行使はしないという歯止めがあったからです。

平和憲法を持つ国として、日本は国際社会からも信頼されてきました。

私は、憲法違反のこの戦争法を廃止し、安倍政権を打倒するために、平和を願う多くの皆さんと力を合わせ、全力を尽くします。

皆さん、4年前の福島原発事故による放射能汚染は、ここひたちなか市でも深刻でした。それまで当たり前前にできていた、保育園での庭遊び、散歩、道端の草花を摘むことさえ、子どもたちに禁止しなければならなくなりました。

幸いにも、ひたちなか市では、年を追うごとに線量は下がり、気を付けなければならないことはあるものの、自然の中での保育を取り戻すことができるようになりました。

子どもが育つうえで、自然の豊かさに勝るものはありません。

私は、再び自然の豊かさを損なうことは絶対あってはならないと強く思います。

東海第二原発は30km圏内に94万人が住んでいるという日本一の人口密集地帯にある原発です。ひたちなか市は現在、東海第二原発での過酷事故を想定した避難計画を立てようとしています。実効性のある避難計画は立てようがありません。

いつ、事故が起きるのか? 事故が起きたらどうやって逃げたらいいのか? 逃げた後、どうやって生活してゆけばいいのか?

原発事故は、ひとたび起きたら、その被害・損害・苦しみは、どこまで・いつまで続くかわかりません。福島ではいまだに11万人もの方々が避難生活を強いられています。

ここ、ひたちなか市ですと安心して暮らしていくために何より大切なことは、東海第二原発を再稼働させず、廃炉にすることだと私は確信しています。

私は、東海第二原発の廃炉を目指し、しっかりと市に働きかけていく決意です。

皆さん、私はこの6月にひたちなか市議会を傍聴しましたが、24人の議員の中で、質問したのはたった9人だけ、ということに大変驚きました。私は議員の役割は、市民の代弁者として、市にしっかりと声を届けることだと思っていましたが、ただ座っているだけの議員が15人。中には居眠りしていたり、途中でふらふらと出て行ってしまふ議員が何人もいるなど、市民の代弁者とは程遠い光景でした。

日本共産党の山形議員は1時間の質問時間に、東海第二原発のこと、戦争法案のこと、子どもの医療費助成のことなど、市民の命と暮らしを守る立場から、しっかりと質問し、議会に共産党の議員がいることの値打ちを、実感しました。

この間、私は、地域の方々から、様々なご要望や悩みを伺ってきました。車椅子での外出の不便さ。視覚や聴覚に障がいのある方の者の社会生活の困難さ。道路がでこぼこで、自転車の買い物かごの中の生卵が割れてしまった。通学路が狭くて、車がすれすれに走って、命がけ。子育てと仕事をつづけることの大変さ、など・・・

皆さん、ひたちなか市はこうした市民に冷たい市政を続けてため込んだお金は145億円にも上ります。財政力は県内でも6番目と豊かな市です。ひたちなか市に無いのはお金ではなく、福祉の心です。

私は、この豊かな財政力を生かして、市民の皆さんの切実な声をしっかりと受け止め、命・暮らし、子どもたちの笑顔と未来を守るために、全力で市に働きかけてまいります。

皆さん、私は、群馬県に生まれ、茨城大学入学に伴い、18歳で茨城に来て、はや34年です。夫は、大学時代、生協活動で出会いました。45歳でガンで亡くなりましたが、そのとき3人の子どもは、ちょうど小学校入学、小学校4年、中学校入学という年齢でした。私は保育士の仕事をしながら、子育てと仕事、無我夢中の10年が過ぎました。

この経験はお寄せいただいた皆さんの声・気持ちと重なることが沢山あります。

皆さん、わたくし宇田たか子は、命・暮らし最優先の温かいひたちなか市を目指して、力いっぱい働きます。日本共産党が伸びれば、政治は必ず変わります。

皆さんのお力でぜひとも市議会で働かせて下さい。

大きなご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。